

# かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第4号 令和元年7月17日(水)

## 宿題に身が入らない!!

校長 井田 寿

先日、保護者の方から「うちの子は私が声をかけないと宿題をやらないので困っています」という声を聞きました。逆に「うちの子は何も言わなくても宿題をやりますよ」そんな声も聞こえてきそうです。「宿題は終わったの?」「早く勉強しなさい」「いつになったら始めるの?」こんな言葉を口にした後、子どもからどんな反応が返ってくるのでしょうか?しゅしゅ始める子、「はい」と気の悪い返事をしてだらだら机に向かうだけの子、あるいは親のいらついている気配を感じてさっと逃げてしまう子・・・保護者として望む姿はこのような姿ではなく、自分から進んで机に向かう子どもの姿だと思います。



さて、『宿題』をインターネット〈ウィキペディア〉で検索してみると、「学校等において、教師が児童・生徒に課する自己学習の課題」とありました。また、宿題の意義は「本来は、宿題は学校だけでなく、家庭でも勉強することを身に付けることを目的にしている」とありました。つまり、家庭学習の習慣を身に付けるのが宿題の本来のねらいということになります。では、「なぜ、自分から進んで机に向かうことが大切なのでしょうか?」それは、学習の習慣を身に付けることが人生を歩む上で極めて重要だからです。誰かに命令されて嫌々やるのは、習慣ではありません。現状、学校の勉強についていけない、苦手な部分があるなど様々な状況がありますが、まずは子ども自身が机に向かう、そういう習慣が子どもたちの今後の人生に大きな影響を与えます。夏休みには宿題があります。与えられた課題をこなすだけでなく、自分なりに課題をもち、計画的に追求していけるような宿題にも取り組むことが大切です。子どもたちが宿題を意欲的に持続していけるよう、丁寧に評価し、励ましていきたいと思えます。また、学校と家庭が連携し、協力しながら子どもたちの学ぶ習慣づくりを支えていきたいと思えます。

夏休み明けの9月2日(月)には、成長した姿で2学期の始業式が迎えらることを願っています。

### 三郷校区ふれあい盆踊り大会

- 1 日時 令和元年8月3日(土)  
18:45~20:30
- 2 場所 三郷小学校運動場



(5年児童 作)

地域の方たちと一緒に踊ったり、あいさつをしたり、話したりして楽しく過ごすことができます。ぜひ、ご参加ください。



**Let's join the local events.** (地域行事に参加しよう)